

2026年4月30日

各位

会社名 グローカルマーケティング株式会社
 (コード番号 266A TOKYO PRO Market)
 代表者名 代表取締役 CEO 今井 進太郎
 お問い合わせ先 取締役 CFO 兼経営企画部長 遠藤 頑太
 T E L 0258 - 89 - 6221
 U R L <https://glocal-marketing.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月14日に公表した2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2026年3月期の業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想（A）	430	17	15	9	32.09
今回修正予想（B）	387	4	5	11	39.48
増減額（B-A）	△43	△13	△10	2	
増減率（%）	△9.8%	△71.9%	△66.5%	23.0%	
（参考）前期実績 （2025年3月期）	364	6	6	3	12.59

2. 修正の理由

売上高は前期と比較して18.0%増の430百万円を計画いたしましたが、当社における案件受注が想定通りに進まず、また2026年3月期の売上高および各段階利益の着地見込みが明らかになったため、業績予想の修正をする判断に至りました。これらの要因は以下の通りであります。

- ・受注率の未達成

営業活動において、当初想定していた受注率および受注単価に届きませんでした。提案件数および提案単価の引き上げを図ることで対応を試みましたが、十分に補填するには至りませんでした。

これらの要因により、売上高が前回発表予想より43百万円減の387百万円の見通しとなり、これに伴い営業利益および経常利益においても前回発表予想を下回る見込みとなりました。

営業利益は、売上高の減少に加えて、計画以上に営業人員の採用を進めましたので、前回発表予想より13百万円減の4百万円を見込んでおります。

経常利益は、前回発表予想から10百万円減の5百万円となる見通しです。経常利益が前回発表予想より減少したのは、上記要因による営業利益の減少に伴うものであり、この他主要な要因はございません。

当期純利益は、前回発表予想から2百万円増の11百万円となる見通しです。これは繰延税金資産の計上によるものであります。

3. 今後の見通し

今回の業績予想の修正を厳粛に受け止め、業績改善に向け早急に対策を講じて参ります。具体的には、以下の取組みを推進いたします。

- ・主要顧客層からのニーズがある生成AI活用を中心としたデジタル領域への取り組み強化
- ・営業部門の人材育成促進と効率化のためのチーム編成見直し
- ・人員増強によるサービス実施体制の強化

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上